

～夢と希望をもち 未来にはばたく つばさっ子～



つばさ

12月号No. 10

令和7年11月28日
さいたま市立つばさ小学校

つばさっ子へ、年の瀬に願うこと

校長 浅野博一

暑かった日々が続いていましたが、急に気温が下がってきました。校舎南側と北側のヘチマも枯れ始め、この後、たねを落とし始めます。4年生が1年間の気温の変化と植物の変化を観察し続けますので、3学期もヘチマはそのままとなります。どうかご理解を願います。

さて、令和7年の授業日数も残り18日となりました。全力投球の連続で、ここまでまいりました。11月上旬、埼玉県感染症発生動向調査結果が、国の定める警報の基準値を超えて、昨年よりも、約1か月早い警報が発令された頃、私は、世界的細菌学者 野口英世に改めて注目するようになり、様々な方面からアプローチを始めました。

本校でも、インフルエンザによる学級閉鎖を余儀なく行わざるを得なくなり、細菌よりはるかに小さなウイルス・目に見えない敵から、1校を預かる責任者・校長として子どもたちを守り抜くため神経をとがらす日々が続きました。米国シンシナチー医科大学教授グスタフ・エクスターイン博士著「野口英世」に、次の英世の言葉が記されています。

『天才なんてあるもんか！努力だ。勉強だ。

それが天才だ。誰よりも三倍、四倍、

五倍勉強する者、それが天才だ。』

努力の人・英世は、フランスの英雄ナポレオンを尊敬し、睡眠時間を持しんで、勉学や研究に没頭していたといいます。

…この冬、更に、野口英世を研究し、新年、子どもたちに大きな志をはぐくむべく語りかけられるように努めたいと思います。

私は、学生時代、空手部で白帯のときの基本稽古がとてもつらかったのを覚えています。千本突き、千本蹴り…、もうへとへとで、ぶつたおれそうでした。でも、茶帯となり、黒帯となると、白帯のときの基本稽古が何とも思わなくなっていました。それだけ心身が強くなり、技も上達したからだと思います。

つばさっ子には、つらいことから決して逃げ出さず、困難なことにも、勇気をもって挑戦していってもらいたいと願っています。毎日、毎日、一生懸命努力する人は、様々な事がつらく思えるかもしれません。今の自分を一步でも高めようと懸命に努力しているからこそ、つらく感じができるのです。つらいと感じるのは、それは成長のチャンスです。

また、一方でのつばさっ子への願いは、自分らしさを大切にして欲しいという事です。「窓ぎわのトットちゃん」を読み、トモエ学園での様々なエピソードを読み返すと、「子どもは、みんなそれぞれに素晴らしい、その子なりのよさをもっている。」ということを強く感じます。テレビ放送史を代表する芸能人の一人である黒柳徹子さんは、ユニセフ親善大使なども務められ、他の自著の中では、発達障がいの一つであるLD(学習障がい)をもっていることを公表しています。

黒柳さんは、小学校時代、とても落ち着きがなかったことから、「別の学校に移ってほしい。」と言われ、尋常小学校を一年生の時に退学、戦時中では珍しい、子どもの個性を尊重した教育を実践する「トモエ学園」へ転校しました。

黒柳さんからも理解できるように、みんなとの違いは必ずしも、そろえなければならぬものでなく、自分にしかない、自分のよさでもあるのです。

11月18日、小・中合同音楽会。6年3組の心を一つにした歌声に心を打たれました。もうすぐ新しい年を迎えます。…つばさっ子には、多様な仲間たちとそれぞれの違いやよさを認め合い、複数の音が同時に響き合うハーモニーのように輝かしい時代を築いてほしいと願います。



年間重点目標
廊下は静かに右側歩行をしよう
12月の生活目標
寒さに負けない体をつくろう
12月の保健目標
手洗い、うがいをしっかりしよう

おめでとうございます！

◆第31回日本管楽合奏コンテスト全国大会

【優秀賞】

◆第25回さいたま市北区理科教育研究発表会

【優良賞】

◆令和7年度放置自転車追放ポスターコンクール

【努力賞（高学年の部）】

◆令和7年度さいたま市人権標語

【入選】

◆令和7年度さいたま市人権作文

【入選】

◆令和7年度さいたま市児童生徒作文コンクール

【優良賞】

【入選】